

くまもと

☎ 議会だより

104号
2022.2.10



おだやかな1年を願う

も く じ	議長挨拶	2
	12月定例会	3
	12月定例会議案等審議結果	4
	一般質問	6
	成人式	14
	編集後記	16

復旧・復興を更に推し進める年に



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、日頃から議会に対しましてご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興元年として、インフラの復旧や生活再建場所あるいは学校再編の検討が進み、少しづつではあります。復旧に向けて進んだ年となりました。なかでも、国道219号が大野大橋を経由して芦北から人吉まで通行できるようになり、村、県道でも復旧が進んできました。また、災害公営住

宅については、運動公園敷地内や一勝地永崎団地横に建設する計画が進み、渡小学校も球磨中学校敷地の仮設住宅に移り、新年からは学習環境の整った場所で学習が出来るようになりました。

しかしながら、国から球磨川水系流域治水プロジェクトが示されたものの、長期的にかかる計画もあり、生活再建の場所を決めかねておられる方も多く、具体的な説明や対応が迫られます。議会として、国、県へ復旧・復興が早期にそして出来る限り村民が希望される復興に近づけるよう強く要望してまいります。

また、このような復興途中のなか、全国で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、感染予防の

徹底とワクチン接種により徐々に減ってきたものの、新たに形を変え、第6波、さらにはその後の広がりも予想され、地域経済や社会活動、学校活動へも影響が及ぶことが心配されます。特に復興事業

へも影響を及ぼしかねない事態とならないよう、今後も、徹底した感染予防対策をお願いし、前の生活を取り戻せるよう力を合わせてまいりましょう。

令和4年は、復旧・復興を更に推し進める年であります。令和2年7月豪雨災害は、私たちの生活を一遍させましたが、全てが無くなつたわけではありません。これまでの日常を取り戻すことや心の傷を癒すことは、容易なことではありませんが、それでも、復旧や復興

に進んで行かなければなりません。

議会としまして、被災された皆様の生活再建が少しでも前に進めるよう、そして、村全体の生活が少しでも被災前に戻れるよう、議員一丸となって頑張ってまいります。どうかこれからも、力強いご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭に当たってのごあいさつとさせていただきます。

令和4年1月吉日

球磨村議会議長 多 武 義 治

山口塚の丸居住エリアの宅地造成地購入費を補正

第11回定例会が12月10日から16日までの4日間の日程で開催されました。

初日は、9月以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、一部事務組合の報告を行いました。

続いて、工事請負契約の変更1件、財産の無償譲渡1件、国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定1件、令和3年度の一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算が上程されました。

2日目と3日目は一般質問が行われ8名の議員が通告書に基づき質問を行いました。

4日目は、上程された議案を審議し、全員一致で採択されました。

【契約】

○工事請負契約の変更

球磨中学校技術室棟新築工事の契

約額を144万9千839円増額

【財産】

○財産の無償譲渡

大瀬公民館の土地建物を大瀬地区に譲渡

【条例】

○国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

出産育児一時金の支給額の見直しによる条例改正

【予算】

○令和3年度球磨村一般会計補正予算

一般会計補正予算の主なものは、ふるさと応援基金及び災害復興基金の積立額を歳入に合わせて増額。山口居住エリアの宅地造成のための宅地購入費、新型コロナウイルス感染症の影響による事業所を支

援する持続化給付金、村税の事項超過納付還付金、子育て世帯臨時特別給付金、一勝地温泉施設配管敷設替設計業務委託料、商工会再建支援助成金、橋梁の点検や設計と一部橋梁の補修に係る予算等1億8千452万3千円を追加し、総額73億210万2千円となりました。

○令和3年度、国民健康保険特別会計補正予算

特別会計補正予算

補正予算の主なものは、保健給付費の増額、マイナンバーカードの健康保険証利用申支援事業にかかる予算6千147万2千円追加し、総額5億7千302万8千円となりました。

○球磨村介護保険特別会計補正予算

補正予算の主なものは、地域密着型介護サービス給付費と高額介護サービス費は当初予算額を下回る見込により減額、訪問介護等の居

宅介護サービス利用者として施設介護サービスの入居者の増加に伴う予算、令和2年度介護給付費国庫負担金の確定に伴う返還金を増額した。予算額は、8千247万1千円を追加し、総額7億4千397万4千円となりました。



宅地造成予定地の山口塚の丸（写真左が国道方面、右が内布方面）

令和3年度第8回一般会計補正予算の主な予算

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ、1億8,452万3千円を追加し、73億210万2千円となりました。補正予算の主な内容は2ページに掲載しています。

なお、歳入については、普通交付税のほか、国、県の交付金やふるさと応援寄付金を増額しており、歳出予算の主な金額は次のとおりです。（補正予算の一部を掲載しています）

予算の費目等		金額 (千円)	説明
総務費	積立金	25,000	ふるさと応援基金積立金
		5,000	災害復興基金積立金
	補助金	2,720	持続化給付金
	公有財産購入費	15,273	土地購入費（山口塚の丸居住エリア宅地造成地）
	委託料	8,000	小川舟戸地区避難路測量設計業務委託料
民生費	負担金	7,543	老人福祉施設措置費
		6,365	療養給付費負担金
	補助金	43,100	子育て世帯臨時特別給付金事業費補助金
農林水産業費	補助金	2,250	農業次世代人材投資事業給付金
	委託料	3,014	一勝地温泉施設配管敷設替設計業務委託料
商工費	補助金	2,500	商工会再建支援助成金
教育費	工事請負費	1,740	渡小学校仮設校舎 屋根撤去等工事ほか
災害復旧費	補助金	4,100	小規模災害補助金
	工事請負費	19,989	令和3年発生公共土木施設災害復旧工事

12月定例会 議案等の審議結果

	議案番号	件名	結果
1	議案第64号	工事請負契約の変更について	原案可決
2	議案第65号	財産の無償譲渡について	原案可決
3	議案第66号	球磨村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
4	議案第67号	令和3年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
5	議案第68号	令和3年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
6	議案第69号	令和3年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決

令和4年 第1回臨時会を開催

令和4年1月18日に、第1回球磨村議会臨時会を開催し、契約1件、条例1件、予算1件を審議し可決しました。

契約は、「神瀬福祉センターたかおと」の解体工事にかかるもので、契約金額6,017万円で有限会社和田商會が落札しました。

また、条例については、神瀬福祉センターたかおとの解体に伴う関係条例を廃止する条例の制定となります。

令和3年度一般会計補正予算の主なものは、村内施設の電気使用量が増えたことによる光熱水費の追加、子育て世帯等臨時特別給付金5,550万円、この特別給付金支払のためのシステム改修費138万6千円の追加。渡小学校仮設校舎内ネットワーク構築業務委託料168万7千円等6,125万2千円を追加し、予算総額73億6,335万4千円となりました。

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨	頁
田代 利一議員	<ol style="list-style-type: none"> 1 復興について <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの再建について、学校の再建について ・福祉の充実と施設の再建について ・地域別の復興方針、復興まちづくり計画 2 消防の広域化について 3 稼げる農業について 	6
東 純一 議員	<ol style="list-style-type: none"> 1 仮設住宅入居期限 2 神瀬地区まちづくり計画 <ul style="list-style-type: none"> ・現在において取り組み内容と今後の計画方向性 3 村内道路状況と冬場の迂回路対策 	7
犬童 勝則議員	<ol style="list-style-type: none"> 1 そなえ <ul style="list-style-type: none"> ・復興に向けたこれからの取り組み 2 なりわい <ul style="list-style-type: none"> ・農業の再生と中山間事業 3 きずな <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の被害と学校における防災教育 	8
嶽本 孝司議員	<ol style="list-style-type: none"> 1 宅地開発予定地 <ul style="list-style-type: none"> ・山口、塚の丸の開発進捗状況 2 災害公営住宅 <ul style="list-style-type: none"> ・建設内容（渡、一勝地） 	9
板崎 壽一議員	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害公営住宅の建設について 2 高校生の通学手段は 3 河床掘削について 4 国への陳情は 5 かわせみ会について 	10
舟戸 治生議員	<ol style="list-style-type: none"> 1 被災者の生活再建 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な宅地の確保 ・災害公営住宅の整備 ・被災者に寄りそう住まいの再建支援 ・豪雨災害の被災者に係る就職 ・豪雨災害・教育現場での対応 2 災害に強いむらづくりに向けた復旧と備え 	11
小川 俊治議員	<ol style="list-style-type: none"> 1 球磨川流域治水 <ul style="list-style-type: none"> ・球磨川流域の治水対策について村長としての所見 2 村民の足としての公共交通 <ul style="list-style-type: none"> ・JR肥薩線の再開の見通しと代替え施策としての考え 	12
高澤 康成議員	<ol style="list-style-type: none"> 1 球磨村復興計画 <ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケートについて ・人口減少歯止め策 ・基本目標について ・執行部と議会の関係性 2 特色ある村づくり 	13

どの事業が創造的復興なのか、具体例は

答

暮らしの再建が最優先課題

質問 暮らしの再建・学校の再建・福祉の充実と施設の再建をどう考えているか。

松谷村長

暮らしの再建は最優先に取り組むべき課題であり、村では住まい再建築として、災害公営住宅の建設と宅地の整備に取り組んでいて、渡地区は、運動公園遊具広場敷地内に鉄筋コンクリート造りの集合住宅60戸を整備予定で、一勝地地区

は鉄筋コンクリートに限定せず、どちらも令和5年度中に入居予定としている。ただ、神瀬地区は現段階では未定となっている。

高永教育課長

先般学校の再建について、保護者・住民にアンケートをとり、渡小学校単独再建が8%、小学校統合が33%、小中学校統合が50%とあり、渡小学校単独再建が非常に少なかった。

森教育長

渡小学校が大きな被災を受け現地での復旧が難しく、アンケートで小学校統合、小中学校統合の割合が多いのが現状で、再編計画の検討委員会では将来の児童生徒のよりよい教育環境について議論を頂いて、再編の時期・複式学級の解消方法や特別支援教育の充実など学校教育環境全体を検討中である。

松谷村長

福祉の充実と施設の再建は千寿園の本施設の再建で、令



一勝地地区の災害公営住宅建設予定地



田代 利一 議員

和5年度末までに国の災害復旧事業補助金を活用し、災害公営住宅建設等と同時に進め、安全な場所の運動公園敷地内を考えている。

質問

復興まちづくり計画案は渡地区に偏っていると思うが。

松谷村長

渡地区は他市町村との近接性や移動の利便性を生かした移住・定住を促進する地域と考え、地域の課題や復興の方向性も異なることから、一勝地・神瀬・三ヶ浦・高沢の地域別に復興方針を取りまとめている。一勝地は公共施設を中心とした地域、神瀬は森林環境を生かし、三ヶ浦は棚田や農村の原風景を生かし、高沢地区は山里の歴史に育まれた伝統や文化を守る等、復旧復興へ向けた取組方針を各地区それぞれ定めている。

上部建設課長

災害時に孤立しな

いように林道網と連携して、避難路となる道路網の整備に取り組み、林道川島線・岡線並びに一勝地高沢線を随時県の工事で計画的にやっている。

質問

消防の広域化として上・下球磨消防組合の合併はできないか。

松谷村長

近年大規模自然災害が発生し消防力の強化が必要であり、消防の広域化が急務と思われる。これまで上球磨との連携が模索されて来たが、具体化には至らず、今まさしく喫緊の課題であり共同運用について検討する。

質問

家庭菜園で、年金プログラムになる軒下支援事業は重点的にやってほしいが、その執行状況は。

犬童産業振興課長

軒下支援事業は、家庭菜園等で余った果樹や野菜を集荷と販売を請負う団体の補助を行うもので、今年度の販売は甘長トウガラシなどをホテル日航熊本や県内物産館へ出荷している。今、村内の農業者の方々と連携しながら事業を進めている。

神瀬復興まちづくり計画案は

防災拠点整備、住まい確保で
地区再建を支援していく

質問 現時点の復旧状況を考えると、仮設住宅入居期限については、村はどのような考えか。また、災害公営住宅、宅地造成完了後は、仮設住宅の対応はどのようになるか。

松谷村長 供用期間は、工事の進捗、復興状況を踏まえ、県が国と協議し、内容に同意が得られた場合に期間が延長される。ただし、入居者全員が一律に延長されるわけではなく、要件を満たしている方に限り延長できることになる。被災者の状況を把握しつつ、個々の状況に応じた支援を行い、満了までに再建できない世帯について延長の手続きを進めたい。

木造仮設住宅に関しては、設置者である県との協議が必要となるが、できる限り再利用したいと考えている。

質問 神瀬地域のまちづくり

計画については、これまでも住民は説明を受けた。しかし、その多くは、治水対策完了後の話であり、災害公営住宅も、宅地確保も計画案が見えていない。住民の地元への思い、気持ちのタイムリミットも近づいている。地域に向けて今後の考えは。

松谷村長 防災拠点整備、住まいの確保を実施することで、一日も早い地区の再建を支援していく。

質問 村内の道路状況は、全面通行止めにより、多くの方々が、かなり遠回をした山越えでの迂回路通行を余儀なくなっている。標高の高い迂回路であり、積雪、凍結も十分予想されるが、緊急時も含め安全対策も考えておくべきではないか。

松谷村長 冬場での山越えになる迂回路であり、積雪や凍結の対策が必要と思われる。通行する工事

業者へ路面の補修も含めた安全対策を国、県からも要請している。積雪には、災害協定を結んだ業者が対応する。

質問 仮設住宅の入居期間延長については、インフラ避難の方々については、復旧を見ながらということであるか。

友尻復興推進課長 現在、それぞれの地区や、道の復旧状況など把握している段階で、そういったものを加味しながら、国、県といつまでということを協議している。

質問 仮設住宅施設を再利用する再建の取り組みについては。

友尻復興推進課長 建設型仮設住宅※は、順次集約し、その後は移設し村有住宅として活用の方策を検討していく。

質問 神瀬中心部は、すり鉢



東 純一 議員



被災地に咲く花

状の地形になっており、球磨川氾濫がなくても、支流や谷からの内水氾濫被害を受けている。この土地はなんとしても面的なかさ上げが必要だと考える。人を待つのではなく、人を呼び込む対策が必要ではないか。

松谷村長 面的かさ上げは、国、県に要望をして来た、今後もしっかり要望していく。

※建設型仮設住宅Ⅱ県が運動公園などに整備した仮設住宅

学校における防災教育の考えは

答 年間計画に基づき各教科や行事・訓練を通して、自ら行動できる取組を学習している

質問 村内の球磨川、支流河川の復旧状況と、復興に向けたこれからの取組は。

松谷村長 県管理河川の川内川、中園川、小川川、告川、芋川、庄本川、那良川においては、昨年より国土交通省代行で復旧工事に着手いただいている。今後も数十ヶ所の砂防、治山事業が計画されているので早期に完了するよう要望していく。

質問 三ヶ浦地区の干津、大無田、那良、松谷、毎床地区の農業水路の復旧について要望書が出ているかと思うが、現在の5地区の状況は。

上建設課長 松谷、毎床水路については、入札を行ったが、不調となった。干津地区については、入札があり着工している。その他の水路については、測量、設計、査定時からの詳細設計となるので、国、県と協議を行っている。

質問 県道人吉水俣線、大柿

から八久保間の進捗状況は。

上建設課長 沖鶴橋の橋梁の災害復旧に伴う工事用道路として、工事発注は行われている。県のほうで用地補償費算出後、順次、地権者と契約を結び、登記まで行う。

質問 人吉下球磨消防議会で、西分署の改築が現在地に建て替える方針が示されたが、西分署の現状とこれからの課題は。

松谷村長 具体的な庁舎の設計、工事のスケジュール等については、今後の消防議会で示されると思うが、計画では令和4年度に着工、完成となっている。

課題としては、新庁舎建設に係る財源の確保が懸念される。

質問 農業再生という点で復興計画の中にはICT技術を活用したスマート農業を指していることだが、機械、機器が高額であるため導入には大きな経営判断が必要だと思っている。各農家ご



との実情に寄り添ったプランはないものか。

犬童産業振興課長 現在、国、農林水産省で、補助事業を創出されているので、事業の採択には成果の目標等必要となるが、事業に取り組んでいければと思っている。

質問 学校における防災教育の考えは。

森教育長 防災教育の年間計画に基づき各教科や行事、訓練等を通して、災害時における避難場所、避難経路の確認や災害時に自らの役割を自覚し、行動できる態度も身につける取組を学習している。

質問 水の大切さと水の怖さについての教育は。

森教育長 球磨村の子供達は、



熱心に防災の説明を聞く児童（防災教育）

犬童 勝則 議員

自然の中で自然と共存、共生してきた。学校でも川、水は怖いものだという意識ではなく、緑豊かな自然と清流球磨川、自然の豊かさ、自然の素晴らしさを今後も学習、体験を通して教えて行く。

質問 大がかりな防災訓練も球磨中グラウンドで行われたが、村民の防災意識を高めるための考えは。

松谷村長 災害の教訓を今後の世代に継承していく事が大切だと思っている。

災害リスクのある場所から、
塚の丸移転は考えなかったのか

答 用地買収を必要としない
公有地を最優先とした

質問 渡、山口塚の丸の造成計画の進捗状況を伺う。

松谷村長 現在測量前の打ち合わせが終わり、測量を行っている段階。

質問 塚の丸はいつから造成に入るのか。

友尻復興推進課長 早ければ来年度から着工できる。

質問 災害公営住宅の建設について、10月6日の現地説明で、イエローゾーン、レッドゾーンがあり、5階から7階建てと変更の説明があり初めて知った。8月20日に国交省との災害リスクについての対応がされたが、議会で説明がされていないがなぜか。

友尻復興推進課長 5階建てと表現したのは「さくらドーム」周辺で建設する折に、5階建てぐらいで何棟か建てたいと説明した。その後は何階建てという表現はして

いない。

質問 災害リスクがあることが分かった時点で、塚の丸のほうに移転しようとの考えはなかったのか。

門崎副村長 用地買収の時間を必要としない公有地で、災害のないところを最優先的に検討した。

質問 塚の丸は造成に時間がかかり、全部終わるまでには遅れてしまう。それであれば、5階建てのスペースだけを1期工事、2期工事としていけばできるのではないかと思うが論議されたのか。

災害公営住宅は、公有地、村有地でなければできないのか、規制や縛りがあるのか。

門崎副村長 水、道路などのインフラはどうするのか、時間がかかるない効率的なものも、勘案しなければならぬ。

質問 一勝地の住宅予定地はL2※、渡もイエローゾーンともに災害リスクゾーンであり安心な住宅といえるのか。

門崎副村長 両方とも完全に安全が担保できるような状況ではないが、安心な住宅ということを建物の構造でカバーできる視点で募集要項に掲げた。

質問 渡の遊具施設ゾーンは狭く災害リスクがあり、容認できない。反対である。

山口塚の丸を創造的復興を入れた宅地造成としながら塚の丸ニュータウンみたいな構想はないのか。

松谷村長 創造的復興を成し遂げるとき、変化した球磨村になる。新たな居住の場所としてのニュータウン、素晴らしいことだと思う。

質問 災害公営住宅の建設後

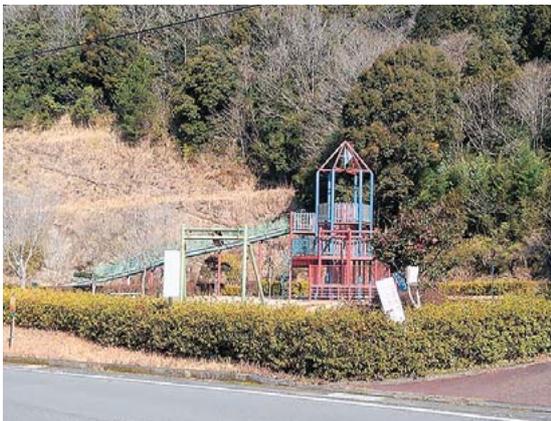
の補助金はどのくらいか。

友尻復興推進課長 家賃低減事業があり、一般住宅より家賃を低く設定し、差額を助成する。近傍同種の家賃を10万円とし、住宅入居の家賃を2万円とした場合、60戸入居で10年で5億円補助が村に入る試算となる。用地取得を伴わない建設買取が10年、用地取得を伴う建設買取が20年の助成期間となる。

※L2 令和2年度版防災マップに示された最大浸水想定区域(1000年に1度、1000分の1の確率)



議員 孝司 嶽本



災害公営住宅建設予定地の遊具広場

災害公営住宅はなぜ7階建てか

答 限られた敷地では階数を増やすしかない

質問 住民へは5階立て、7階建てとは1回も説明はなく、7階建てになったのは

松谷村長 入居希望者の仮申し込の調査により、整備戸数も変動することから説明することはできず、限られた敷地内では階数を増やしていくしかない。また、建設地は横が取れなく、イエローゾーンな

どの関係で1階部分が居住できないということ、上の方に階数を増やし、7階建てと決まった。

質問 議会は現地視察で7階建てと説明を受けただけで、「同意」

したと思いつ階建てと決めたのはあまりに議会を軽視してはいないか。

松谷村長 視察の時、7階建てと説明を受けられ、一定のご理解を得たのだろうと、そういう感覚を持っていた。同意という言葉に対しては、私個人の勘違いで適切な言葉ではなかったと認める。

質問 峯地区の埋立地は、分譲地・宅地分譲地とは考えていないか。

友尻復興推進課長 災害堆積土砂の仮置場となっていて、将来を見据え治水事業後には堤防の高さでかさ上げを実施予定であり、治水事業の進捗に応じて検討する。

質問 高校生の通学手段につ



板崎 壽一 議員

いて、6月定例会で要望書を可決した意見書の対応は。

松谷村長 現在ハイスクールバス
の代わりにJRの代替タクシーが一勝地駅から人吉駅まで運行しているが、利用者が非常に少ないため、広報等で周知を行い利用促進を促していきたいと考えている。

質問 現在ハイスクールバスの運行が止まっている中、保護者・家族の方々が送迎されていて、ガソリンの高騰により家計に影響が出ているが何か援助はないのか。

松谷村長 村としてはJRの代替タクシーを引き続き考えている。水上村が高校生に引き続き金を出している事を聞き、あらゆる方向を考え3月までに考えを示したい。

質問 雨が少ない時期に最大

限の河床掘削を要望したいが。

松谷村長 村内の掘削場所として、川内川の合流点、部地区、中園川の合流点、相良橋の上流で行われ、現在、馬場地区で行われている。村として河床掘削の要望はもとより、掘削土の仮置場や廃土箇所確保等で連携協力をしていく。

質問 金子総務大臣になられたの陳情は。

松谷村長 金子恭之総務大臣が就任された機会をとらえ、11月上旬に球磨郡町村会一体となって復興に向けた力強い支援について要望を行って来た。また、渡小学校や球磨村が抱える具体的な課題項目を取り上げ、今後も引き続き要望活動を積極的に行っていく。

質問 かわせみ会は再会できるのか。

松谷村長 かわせみ会は村の応援団でもあり、豪雨災害後、4箇所のかわけみ会の皆様から御支援をいただいた。できるだけ早く出向いて挨拶等をしたいが、今のコロナ禍を慎重に見極めた上で開催に向け協議していく。



渡地区災害公営住宅イメージ図

安全な宅地の確保は

答 地域別協議会を立ち上げ、将来を見据えた復興まちづくり計画骨子案を作成している

質問 安全な宅地の確保という点で、地域別に候補が掲げられた。移転先のアンケートの結果は。

松谷村長 渡、一勝地、神瀬において地域別協議会を立ち上げ、将来を見据えた復興まちづくり計画骨子案を作成している。

12月1日時点において、対象世帯408世帯のうち回答が367世帯で、住まいの再建見込みが立っていると回答された方が195世帯、これから再建すると回答された方が172世帯となっている。

質問 定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設、橋梁、道路附属物、舗装の対策についての考えは。

上部建設課長 年度ごとの工事修繕費用のフラット化等を検討して、国庫補助事業や起債事業を活用し



運動公園から山口塚の丸を結ぶ避難路の検討（右奥が宅地造成地）

ながら、定期点検や実際に修繕工事を実施している。

質問 災害公営住宅整備における避難路についての答えは。

松谷村長 渡地区の復興まちづくりの大きな考え方として、将来を見据え、学校施設や高齢者福祉施設、防災施設等の集約や、居住エリアと接続を考慮したコンパクト

な地域づくりを目指しており、住まいの再建築と併せて運動公園と峯地区を、また、総合運動公園と山口塚の丸居住エリアを結ぶ避難路の整備を検討している。

質問 防災集団移転促進事業の説明を。

友尻復興推進課長 住民の生命等を災害から保護するため、居住に適当でないと思われる区域内にある住居の集团的移転を促進することを目的としている。市町村が行う住宅団地の整備等に対して、事業費の一部が補助されるもの。

質問 被災者に寄り添う住まいの再建は。

松谷村長 住宅ローンの相談については、今年3日から月1回、運動公園さくらドームみんなの家に

において、住宅金融支援機構が相談会を開催している。

質問 消防団の装備の改善についての考えは。

松谷村長 消防団幹部会において要望があり、村としても、消防団活動維持のため、必要に応じて計画的に配備を行う。

質問 学校再開に向けての子供達の状況確認、教室の確保、通路の安全確認等、教育現場での対応は。

森教育長 児童生徒の被災状況や災害後の生活拠点については、災害発生直後から担任を中心に避難所等の訪問、または電話連絡等により、常に居場所や健康状態は把握していた。教室の確保については、一勝地小学校に応急的な仮設教室を設置し、不足する分はランチルームや特別教室を利用して教室化を図った。通学路の安全確保については、通学路となる路線をスクールバス運転手が実際にマイクロバスで走り、安全性を確かめ、路線を確保した。



舟戸 治生 議員

「ダムは必要」とした当時と 変わりはなくか

答 気持ちは全く変わらない

質問 球磨川水系緊急対策プロジェクトに基づく治水対策について村長の所見を伺う。

松谷村長 住民の安全安心な暮らしを実現すること、生命と財産を守るため、国、県、流域市町村と連携し進める。地域住民への丁寧な説明が必要であり、必要に応じて説明会や広報を行う。

質問 災害を受けた地域について国の事業なり補助金が出る事業について、L2レベル以外しか認められないのか。

友尻復興推進課長 災害公営住宅については、L2を想定して考えてもらいたいとの話があった。ただ適地がなく、既存集落等の生活拠点機能を維持するため必要がある場合は、国交省との協議が必要。

質問 今後、村が必要とする場合、個別協議ができることについて確認できるか。

松谷村長 一王子団地跡地とか流

域治水プロジェクトが終了した場合に安全な場所と考えられ検討していく。

質問 ダム建設を含む治水対策が方向性を確認できない中では堤防高※は決まらない。あと何年かかるのかもわからない。

次に、ダムによらない治水対策の検証が水害後行われたが村長の感想は。

松谷村長 ダムと匹敵するような災害を予防する効果はみられない感覚であり、そういう場であった。

質問 10年前に決めたダムによらない治水対策。この10年ほとんどなにもされなかったがどう考えるか。

松体村長 議論されてきただろうが、なかなか手がつけられなかったのだからと思う。

質問 河道掘削はできたはず。神経をいすぎるぐらい国、県に強く求めてもらいたい。



小川 俊治 議員

議でこれからダム建設を推進していくとの話があり、それを受けて、政治家として表明した。その気持ちは全ったく変わらない。

質問 ダム促進協議会の中ではダムを容認したものではないとの姿勢の首長もあるが、促進協内の議論はどうか。

松谷村長 促進協ではみんなで決めた。その後方針が変わりはない。

質問 流水型ダムでも水を汚す危険性があり、水、景観など環境での不安が指摘されるが。

松谷村長 私の知る範囲では、流水型ダムは自然と清流と住民の命を守り、できる限り環境に配慮したダムであることは確かであると考える。

質問 住民の足を守る取り組みとして、くま川鉄道の渡までの延長の考えは。

松谷慎重 多くの方から意見もあり、前向きに検討していきたい。

※堤防高Ⅱ河川基本方針に基づく治水対策の堤防高



エメラルドグリーン of 球磨川

創造的復興を成し遂げるために
必要なことは何か

答

村民の思いに寄り添い、具現化していくことだ

質問

令和2年7月豪雨から

1年5カ月が過ぎ、復旧が加速してきた気がしている。しかしながら、原形復旧本工事が終えた場所でも崩落する箇所も存在し、復旧が不適當な場合や困難な場合、質的な改良を加えた復旧の捉え方による復旧も望まれる。また、農地、農業用施設の迅速かつ適切な復旧が強く求められる。住民の不安を安心に変え、失望を期待に変えていくために、目に見えた成果が必要だと思つが。

松谷村長 復興計画については、全職員一丸となり、復旧に邁進してきた。一歩ずつ復旧の歩みを進めている。円滑な発注につながる工夫も必要と考えており、生活再建の観点からは、スピード感を持って取り組んでいく。

質問

村長はこれまで、治水

対策後水位を念頭とした早期宅地かさ上げ対策に加え、さらなるかさ上げ等を求める声がある中に、ソフト対策の充実、共済加入等々と答弁されているが、住民の求める本質的なことを理解されているのか疑問に思う。

松谷村長 村長就任にあたり、人口減少の歯止めと、所得向上を公約の柱として掲げた。今回の災害を受け、復興を目指す中で極めて厳しい状況になっている。皆様から様々な意見を頂戴しているが、切実な声に応えきれない状況に、歯がゆさともどかしさを感じている。

質問 災害公営住宅建設にも議会も反対していることではない。建設後は村が運営していく中で、建物だけでなく、付加価値を高め

住み続けたいと思っただけのためにも、シンボリックな建物にしたいだけでなく、具体的に発信することが必要である。

特に若い世代の流出を真剣に考え、言葉で発信しなければ村の衰退に直結する。

村長自ら夢を語り、それを具現化していくプロセスを住民が期待していると思う。夢を語らずして魅力ある村づくりは実現しない。

いずれ村民の心を動かし、住民参加型の村づくりが実現するのではないか。創造的復興を成し遂げるために、何が必要か。

松谷村長 村民の生活再建に鋭意取り組んで、村民皆様の球磨村復興



復興の中心となる運動公園一帯

の思いに寄り添い具現化していく。創造的復興を成し遂げていきたい。

質問 空き地活用については、限られた土地を今後、有効活用し、特色ある村づくりをしていくかが重要と考える。活用についての考えは。

松谷村長 村管理施設も多く被災し、解体工事を進めている。空き地活用の取り組みは、地域の特色や、復興に資する利活用を検討していく。



高澤 康成 議員

いただきました

1年延期となりましたが

令和3年 成人式おめでとうございます

看護師2年目も頑張ります
野々原麗菜

しっかりとした大人になる
犬童 愛里

就活頑張ります
中井 知未

就活と卒論頑張ります
中井 真未

自立する
水篠 鈴

幸せになる。自立する
野々原ゆりの

無事に成人式を迎えられたのは地域の方々や周囲の方々に支えられていただいたからです。今後は恩返しできるよう精進してまいります。

丸山はるか



多くの感謝を忘れずに、いつでもどこでも頑張ります

毎床 彰啓

今まで育ててくれた家族に感謝しながら夢に向かって多くのことに取り組んでいきたいです。

大岩優希菜

友達の近況を聞き、すごく刺激を受けました。今後は、自分らしく頑張りたいです。成人式を開催いただきありがとうございました。

竹下 美咲

延期されたことにもかかわらず、成人式を計画、開いていただきありがとうございます。とてもワクワクする式典でした。これからもよろしくお願いします。

高澤 華梨

県職員として、熊本県のために頑張ります

西 歩香

日々感謝を忘れず仕事を頑張ります

上原 琉雅

努力する年
糸原 樹哉

令和4年 成人式おめでとうございます

社会人として新たな世界のことをいろいろ吸収したい
高沢 威瑠

成人としての自覚を持ち、これからも学び続けていきたい
山口 由起

皆と会えて良かった
中村 優里

このような機会を設けていただきありがとうございます。旧友と話したことでとても刺激になり、これからも精進していこうと改めて思いました

小川 真優

20歳という節目に成人式を行えたことともうれしく思います。大人としてのこれからの人生を彩やかなものになりたいと思います。

松浦 伊織

市民を助けるヒーローになります

澤見悠太郎

皆さんに会えて良かった

浦野 雄飛

自分の目標を見つけようと改めて感じた

板崎 太樹

社会人として、一人の大人としての責任を果たせるように頑張ります

椎屋 夏樹

楽しかった
松永 倫佳



皆にあえて良かった。地方サイコー

伊高千菜美

新成人としてこれから頑張っていきたいと思います

水篠 楓華

久しぶりにお世話になった先生や、友達に会えて嬉しかったです。みんなががんばっているの聞いて自分も頑張ろうと思いました。みんなまたあつまろう

毎床 知紗

本日はありがとうございました。

谷口 育海

コロナの中、開催していただき、大変うれしかったです。お金持ちになる

馬場 未来

教育者として、責任と自覚を持ち、子供たちに何か残し与えられる存在になりたいです。

永山日向子

イベントプランナーとして球磨村に貢献したい

清藤 誉

皆さんと会えて良かったです。今日は私たちのために立派な成人式をもうけていただきありがとうございました。

福山 優歌

また球磨村に戻ってこれたら良いなと思いました。

匿名

将来にむかってがんばります

匿名

ありがとう
坂本 真宥

今年の豊作を祈る 小川地区しゅんなめじょ



1月10日、渡小川地区で小正月恒例のカジ(こうぞう)の皮むきとしゅんなめじょ作りが行われた。農家の収入源として、また、五穀豊穡を願う行事として行われてきた。

和紙(カジ紙)の原料となるカジを山江と錦から前日取り寄せ、茹で釜入れの準備、10日の午前5時に火入れし、8時半に釜上げし皮むき

が始まる。皮むきが終わり、皮をむいたカジがらとカジ紙で男・女の人形と4色の餅で飾り付け、俵に刺し完成させた。

時代とともに共同釜は消えていったが、平成11年に小川地区は復活させた。伝統行事を通し、住民の交流と継承を願い地元渡小学校との交流も続けているが、本年はコロナの感染拡大のなか、小学校児童の参加はなく交流は中止となった。

12月定例議会の傍聴人数は延べ16人でした。

次回は、3月定例議会

日時は防災無線で放送いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、傍聴者も手指の消毒とマスクの着用、傍聴席の座席を1つ空けて着席をお願いしました。

編集後記

明るい話題を伝えることが新年のご挨拶の定番ですが、厳しい現実と
思うようにいかないことを覚悟しながらの発刊となりました。

新型コロナウイルス感染症の急拡大も現実味を帯び、第6波が急速に膨らんでいます。人類、感染症との戦いと言われているますが、なぜ今なのか、村にとって災害からの復興を願い、住民の希望をかなえ迎える大事な時期ですが、時は1秒も止まりません。

議会も時間と住民皆様の声を大事にしながら、安心、安全、豊かさを一刻も早くお届けするよう務めなければなりません。

皆様のご多幸をお祈りいたしますとともに、本年も「議会だより」のご愛読をよろしくお願い申し上げます。

小川 俊治

議会広報特別委員会

委員長	小川 俊治
副委員長	犬童 勝則
委員	東 純一
委員	板崎 壽一

■球磨村世帯数:1,349世帯 ■人口:3,203人 男:1,534人 女:1,669人(令和4年2月1日現在)